

令和7年度
学校安全指導者研修会
主催：文部科学省

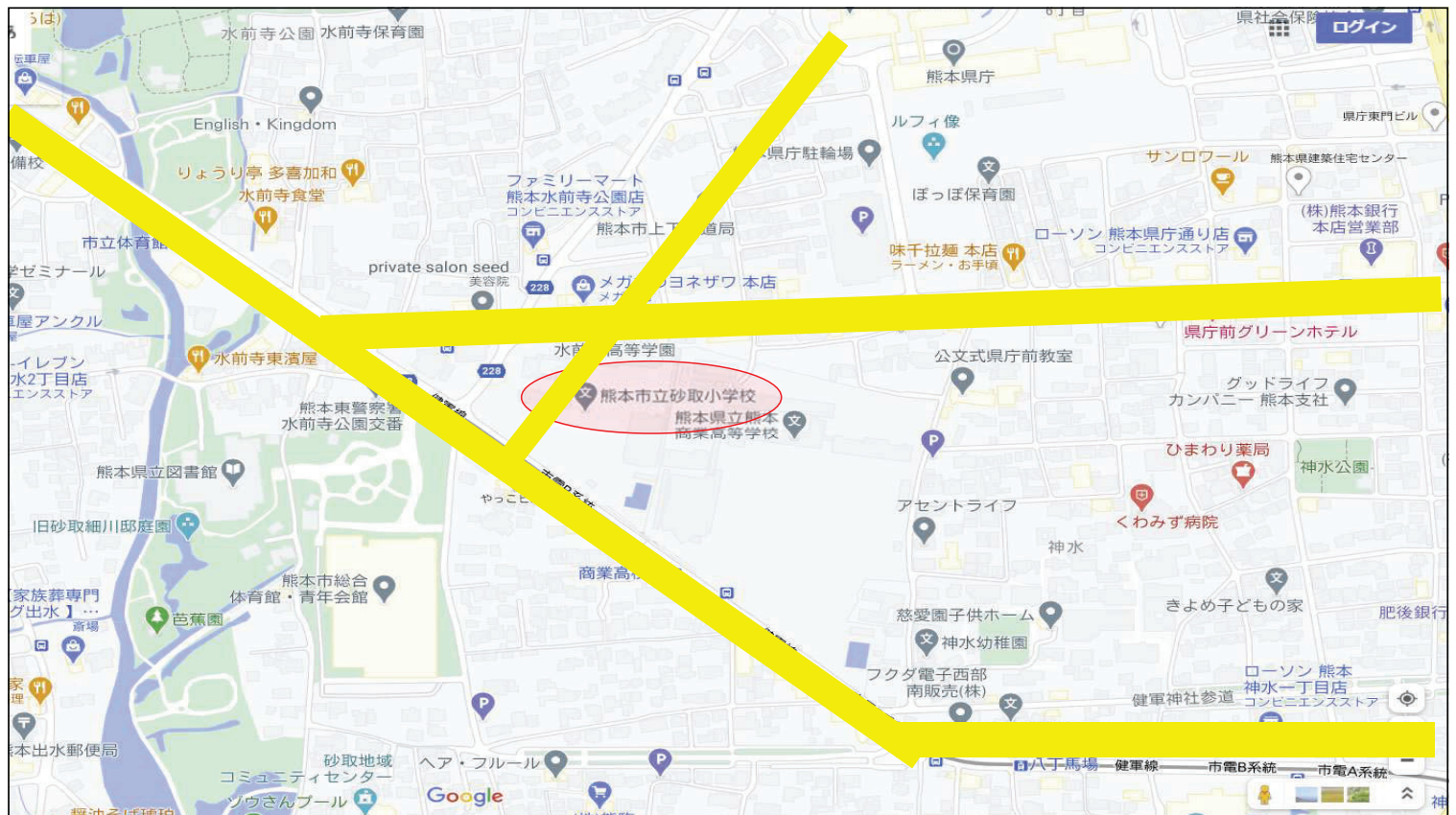


砂取小児童会マスコット
“すなっちー”

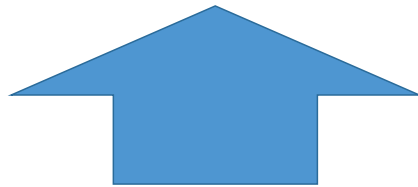
2025年11月27日

熊本市立砂取小学校 校長 竹原 欣哉

砂取小学校区



- ☆健康教育（健康教育、昭和51年～）
- ☆道徳教育（研究委嘱校、指定校、モデル校）
- ☆小学校社会科全国大会（令和4年度）
- ☆教育課程（カリキュラム・マネジメント）モデル校



～砂取小学校区の特徴～

【自然・文化等の環境、地域の教育力】

Ⅰ 学校経営方針と健康づくり

学校経営方針

【学校教育目標】

心豊かで、主体的に学び、
健やかに生きる

「笑顔あふれる砂取っ子」を育成する

～生命(いのち)を大切にする学校づくり～

学校経営方針

学校経営の基本

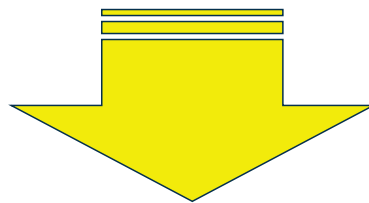
経営の基本(3つの合言葉)

- | | |
|------------------------|---------------|
| ①(規律) 「いい感じ」 | 平時の「規律」=防災の基本 |
| ②(礼節) 「お先にあいさつ」 | 判断力=防犯意識 |
| ③(挑戦) 「やってみよう」(児童も先生も) | 本気の防災 |

【学校教育目標】

～生命を大切にする学校づくり～

取組の実際



- | | |
|----------------|-----------|
| ア 行事(避難訓練)の見直し | イ 施設面の見直し |
| ウ 安全点検の見直し | エ 熊商との交流会 |
| オ その他の取組 | |

取組の実際

ア 行事（避難訓練等）の見直し

◆地震避難訓練

<想定>

- ・震度6弱
- ・けが人なし



・けが人あり

<計画>

- ・校長がいるところに集合



・一番に運動場に出てきた先生が集合場所を決める

～震度6弱～

- ・立っていることが困難
- ・固定していない家具の大半が移動・倒れる
- ・ドアが開かなくなる
- ・壁、タイル、ガラスが破損・落下すること

・校長が不在の時は？

- ・校長がどこかでけがをして動けなくなっているかも？

取組の実際

ア 行事（避難訓練等）の見直し

◆地震避難訓練

<想定>

- ・震度6弱
- ・けが人あり



★地震避難訓練が一変する！

- けが人の確認！
「ケガしてる人はいませんか」
- けがの程度は？
歩ける？歩けない？
- けが人はどこに運ぶ？
- 保健の先生はどこ？

・一番に運動場に出てきた先生が集合場所を決める



- 安全な場所は？
- 全体が入るか？
- 救護の場所は？

ミニひなんくんれん

SOS
カード

頭をうった。意識あり。
小さなこぶができています。

管理職が無作為に選んだ児童に事前に渡しておき、訓練の時に担任に示す

取組の実際

ア 行事（避難訓練等）の見直し

◆不審者避難訓練

- [] で連絡
- ディフェンスに徹する
 - ・児童も守らなければならないが、職員も被害にあってはならない。
 - ・警察が来て取り押さえるまで、教室の入り口にバリケードを築き籠る。
- 「コンタくん」を使って現状を共有

健康教育課が作成した、緊急連絡用アプリ



対応を!!
内線777

名札の裏に入れている。名札ごと、児童に渡し近くの職員に知らせる。

取組の実際

ア 行事（避難訓練等）の見直し

◆ミニ避難訓練

- 休み時間等を利用して3分～5分程度で終わる訓練を行う
(2～3回／月)
- 最初は「放送を立ち止まって聞く」からスタート
- シェイクアウト訓練の音源で机下にもぐる(SOSカード使用)
- 昼休み中でのシェイクアウト訓練(自分で判断して避難行動)

ミニ訓練(屋内)

ミニ訓練(運動場)

取組の実際

イ 施設面の見直し

＜転落事故防止のための緊急的対策＞（R3年：消費者庁）

①窓際の設置物、②固定されていない積み重ねた棚などに限定した緊急の安全点検を行い、窓際の設置物は撤去する、積み重ねた棚は下ろす（撤去する）、固定するなどの対策が求められる。



図1（左）・図2（右）事故のイメージ（再掲）

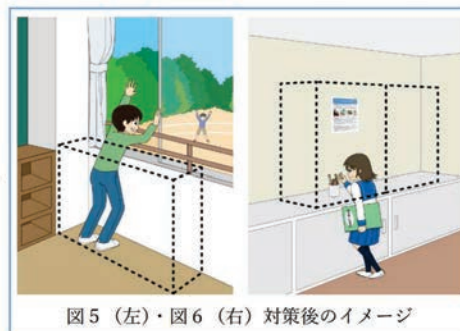


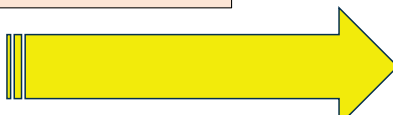
図5（左）・図6（右）対策後のイメージ

取組の実際

イ 施設面の見直し



●本校の棚は壁に固定されていて、動かすことができない。



そこで・・・

●サッシの溝に棒を入れ、窓の開口部を制限



取組の実際

イ 施設面の見直し

●3階の手すり上部に、 転落防止の策を設置

数年前、熊本市の小学校で当時4年生の児童が転落してけがをする事故が発生した。



取組の実際

ウ 安全点検の見直し

●建造物(石碑等)の安全点検 を加える

- ・画像で分かり易く表示
- ・点検項目をより具体的に

●子どもの気づき の項目を 加える

- ・担任が児童に尋ねる
- ・場所はどこでもいい

	腐食はないか
	ねじのゆるみはないか
	ぐらついていないか
	周囲に危険なものはないか
	その他

★改善の余地あり

- ・その場にあった点検項目をより具体的に記載する必要がある。



担当に作り変えるよう指示

取組の実際

エ 熊本商業高校との交流会

<友情の門>

- ・熊本地震の後に設置された



●熊本商業高校との交流の復活

- ・熊商校長との面談時に提案
- ・児童会担当に計画を指示
- ・7月と12月、昼休みに遊ぶことから始めた



取組の実際

オ その他の取組 <エンカウンタータイム>

●毎月第4週木曜日の昼の活動(13:30~14:00)

- ・互いを認めあうコミュニケーションスキルの向上
- ・肯定的な交流
- ・自己肯定感や他者との円滑な関わり方



お気に入りの本
を紹介しよう



ひみつの友達

取組の実際

オ その他の取組

<縦割り班活動>

● 毎月第3週木曜日の昼の活動(13:30~14:00)

- ・学級を超えて関わることの楽しさや喜びを味わう
- ・望ましい人間関係を築く
- ・高学年児童のリーダー性



たて割り班遊び
(自己紹介ゲーム)



すこやか会に向けて
での話し合い

取組の実際

オ その他の取組

<学校保健委員会>

前年度までの取組を踏まえ、
「生命を大切にする学校」についてより児童が自分事としてとらえ、
主体的に考え、取り組むことができるようにしたい。

令和7年度
第一回すこやか会



保健委員会



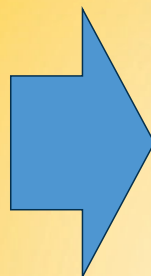
体育委員会



給食委員会



生活安全委員会



「生命を大切にする」ことを児童が
主体的に考えて
取り組むことができ
るようにする

取組の実際

オ その他の取組 <防災オリエンテーリング>

例年の送別遠足を「地域を知る」ことを目的としたオリエンテーリングに変えて実施

問題

江津湖の水が増水したら
どこに避難する？
全て選びましょう。



安全クイズを出題する5年生

取組の実際

オ その他の取組 <体験型防災教室（4年生）>

熊本市教育委員会健康教育課が消防局と連携して実施している事業
・消防士が来校して、直接児童に教えてくれる



火災煙体験



VRによる消火体験



心肺蘇生法体験

取組の実際

オ その他の取組 <着衣水泳>



呼吸を確保する背浮きの練習



ペットボトルを利用した救助の様子

取組の実際

オ その他の取組

◆皆さん、
ご存じですか？

「非常用放送設備」
の仕組み！



取組の実際

オ その他の取組

「非常用放送設備」の 火災を知らせる自動音声放送 実は・・・

「人が火災報知機のボタンを押した時」と、
「火災探知機が作動した時」では、

機械の音声が変わります！

取組の実際

オ その他の取組

A 火災報知機のボタンを押したとき

消防音声男性

<男性の声>

「火事です。火事です。 ○○館(棟)○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」

B 火災(熱・煙)感知器が発報したとき

消防音声女性

<女性の声>

「只今、○○館(棟)○階の火災探知機が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」

■ 本本当に火災発生

- ・「火災」ボタンを押す
- ・または、3～4分程度が経過

■ 誤報だった

- 「非火災」ボタンを押す

C 本本当に火災
※Aと同じ音声

D 誤報だった

<女性の声>

「先ほどの火災探知機のは作動は、確認の結果異常がありませんでした。」

取組の実際

オ その他の取組

加えて！

火災場所を示す言葉は、入力されたものから変更することができない。

つまり、
「A棟はどこ。 B棟はどこ。 本館はどこ。」
ということを知っていないと、どこで火災が起こっているのかわからない。

取組の実際

オ その他の取組

◆そこでこんなことを始めました

音楽室

●授業を始める前に・・・

「ここは C棟3階 音楽室 です。

避難するときは C棟の階段 本館の階段 があります。」

と、復唱した後、あいさつをして授業を始めます。

※ 何回も復唱することで、校舎の場所や名称を覚える。

成果と課題

<成果>

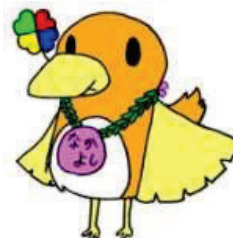
- (1) 児童の反応の向上・教職員の安全意識の高まり
 - 児童の放送をしっかりと聞こうとする態度が向上
 - 児童の反応がよかった
 - 教職員が自分事としてとらえるようになり、安全意識が高まった
- (2) 学校評価に見える保護者や児童の認識
 - 「生命を大切に教育」の項目で95%を超える肯定的な評価を得ている

成果と課題

<課題>

- (3) 教職員の安全意識に対する温度差
 - やらされている、不要と感じている教職員
 - 繰り返しと、研修で向上を図る
- (4) 地域との連携が不十分
 - さらなる熊商との交流の充実
 - もっと地域の中におられる防災士や有識者の人材を活用する
 - 地域との合同避難訓練や合同避難所運営訓練

自他の生命を大切にし
よりよく生きようとする砂取っ子の育成
～安全意識と人とのかかわりを高める健康づくり～



ご清聴ありがとうございました